

はだの史・発見展 「明治・大正の秦野を彩った画家たち」について

白笹稻荷神社の宮司を務め、書家であり、南秦野村長や衆議院議員を歴任した栗原秦堂（栗原宣太郎）が主催した書画会において、帝展画家や秦野在住の画家が描いた秘蔵の日本画を中心に、明治・大正時代、秦野を彩った画家たちの作品を展示します。本邦初公開の作品もあります。

なお、横山大観や菱田春草を育てた橋本雅邦の子、橋本永邦が即興で描いた作品は必見です。

1 会期

2月2日（土）から3月24日（日）まで

2 会場

秦野市桜土手古墳展示館（堀山下380-3）

入場無料

3 主催

秦野市教育委員会

4 展示点数

掛軸28点 小品絵画1点 色紙29点 屏風2点

5 主な展示作家

大津雲山、山田永耕、橋本永邦、小山栄達、塚原霊山、竹本石亭、牧野永昭、白井烟崑、栗原秦堂

問い合わせ

生涯学習文化振興課文化財・市史担当 電話0463（87）9581